

平成17年度事業報告

財団法人神戸大学六甲台後援会（以下、本財団と略す）は、昭和32年の創立以来、もっぱら神戸大学社会科学系学部とその前身校を卒業された皆様方からご寄付いただいた浄財を基金として積立て、その運用の果実を主な財源として、神戸大学の社会科学系5部局（経済学研究科、経営学研究科、法学研究科、国際協力研究科、経済経営研究所）の研究教育活動を発展・深化させるため、さまざまな助成又は補助を実施してまいりました。

本財団の平成17年度（平成17年4月1日～平成18年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成18年6月26日に開催されました理事会及び評議員会で監査報告を含めて報告・承認されたところですが、ステークホルダーの皆様方に本財団の事業活動をご理解いただきたく、ホームページ上で、①学術交流の促進、②学術成果の公開、③教育の充実、④学術基盤の整備、⑤学術交流施設の維持という、本財団が行う主要な事業の別に、その助成又は補助の概要について、ご報告させていただきます。

1 学術交流の促進

(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への助成）・・・ 20,104千円

○経済学研究科 (5,587千円)

・三谷直紀教授（平成17年6月～8月、イギリス）

目的：少子高齢社会の雇用システムに関する研究及び資料収集

・永合位行助教授（平成17年7月～8月、ドイツ）

目的：ドイツの社会保障制度改革及び第三セクターの割合に関する調査研究等

・中川聡史助教授（平成18年3月～12月、ドイツ）

目的：ドイツにおける近年の国内・国際人口移動に関する実証的研究

○経営学研究科 (4,770千円)

・三古展弘助教授（平成18年1月、アメリカ）

目的：第85回TRB年次学会にて発表及び交通行動分析に関する情報収集

・久保英也助教授（平成18年2月、イギリス、イタリア）

目的：チャンネル戦略分析に関する資料収集等

・古谷 豊講師（平成18年2月～3月、アメリカ）

目的：ワシントン大学大学院主催ビジネスコンペ最終選考会への参加

・藤原賢哉教授（平成18年3月～4月、韓国）

目的：韓国における企業破綻処理についての研究

・忽那憲治教授（平成18年3月～19年3月、アメリカ）

目的：ベンチャーファイナンスに関する共同研究

○法学研究科 (4,500千円)

・濱本正太郎助教授（平成18年1月～3月、フランス、イタリア）

目的：国際法に関する調査研究

・青木 哲助教授（平成18年3月～19年1月、ドイツ）

目的：民事手続法に関する研究

○国際協力研究科 (3,550千円)

・アレキサンダー、ロニー教授（平成18年1月、コスタリカ）

- 目的：国連平和大学の「Peace Institute 2006」への参加
 - ・三重野文晴助教授（平成18年3月～19年3月、アメリカ）
 - 目的：コロンビア大学ビジネススクール日本経済経営センターでの共同研究等
- 経済経営研究所 (1,697千円)
 - ・延岡健太郎教授（平成18年1月～4月、アメリカ、ドイツ、スウェーデン）
 - 目的：欧米の自動車企業と家電企業の国際比較研究の実施
- (2) 学会・シンポジウム等開催支援（国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム
 - ・セミナー・ワークショップ等開催への助成）・・・・・・・・・・1,927千円
- 経営学研究科 (477千円)
 - ・第50回ワークショップ（平成17年6月、参加者数64名）
 - テーマ：日本企業の技術経営の課題—デジタル家電を事例として—
 - ・第51回ワークショップ（平成17年9月、参加者数37名）
 - テーマ：企業の競争優位性と知的資産の活用—知的資産のレポートとファイナンス—
 - ・第52回ワークショップ（平成17年11月、参加者数56名）
 - テーマ：売り逃がさない仕組み—ダイヤモンド・チェーンの革新論—
 - ・第53回ワークショップ（平成18年3月、参加者数115名）
 - テーマ：価値を生むマーケティング・プロセス—先進のマーケティング・マネジメントに学ぶ—
- 国際協力研究科 (200千円)
 - ・国際開発学会第16回全国大会（平成17年11月、参加者数300名）
- 経済経営研究所 (1,250千円)
 - ・ワークショップ（平成18年2月、参加者数17名）
 - テーマ：財政政策のマクロ経済効果
 - ・フォーラム（平成18年2月、参加者数66名）

2 学術成果の公開

- (1) 学術研究成果刊行支援（学術研究成果刊行への助成）・・・・・・・・・・ 1,200千円
- 経済学研究科 (1,200千円)
 - ・玉岡雅之著『課税主義の財政学』勁草書房（神戸大学経済学叢書第13輯）

3 教育の充実

- (1) 田崎奨学基金による奨学金支給
 - ・平成17年度は、選考の結果、支給該当者なし

4 学術基盤の整備

- ・平成17年度は該当事業なし

5 学術交流施設の維持

- (1) 学術交流施設維持支援（学術交流施設の維持・管理等への補助）・・ 12,022千円
 - ・「ロイ・スミス館」の老朽化箇所に対する大規模修理の実施 (10,240千円)